



学藝員のススメ

第48回

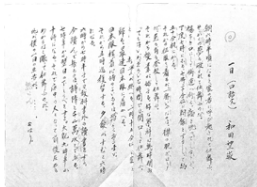
博物館の学芸員が、あれこれ語り倒すコーナー。



大正時代、中学生のリアル 和田傳^{てん}の作文から

大塚 真由美

「朝6時半、家族に呼び起こされてせっかくの眠りが破られる。顔を洗い、朝食を済ませ、朝の学習。襟の肌触りの嫌な征服を着て、ともかく登校。好きな学科は何時間あってもいいけれど、きらいな時間には閉口。2時15分には帰宅し、早速日本服に着がえ。日本服ほど心地いいものはおそらく他にはあるまいと感じ入り、5時まで復習。6時には夕食が済み、しばらく教科書以外の読書。7時半からは翌日の予習。そして、夜10時には前後左右ともわからぬ夢の中―」。という一日を送っていた



作文「目」（口語文）。県立厚木中学校（現在の厚木高校）在学時に作成

のは、厚木市が誇る文豪・和田傳氏。100年以上前の中学生のリアルです（当時は厳しい校長先生の下、教科書以外の読書は禁止されていたはずでは?）。

企画展ではこうした和田の素顔もたくさん紹介しています。親近感倍增間違いなし！展示は9月18日までです。どうぞお見逃しないう、ご来館ください。



博物館HP▲